

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	(有)・無	121人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	(有)・無	0人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	(有)・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	(有)・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	284 人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	28 人
・多発性硬化症	133 人	・ウェゲナー肉芽腫症	49 人
・重症筋無力症	156 人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	25 人
・全身性エリテマトーデス	1,990 人	・多系統萎縮症	21 人
・スモン	3 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1 人
・再生不良性貧血	265 人	・膿疱性乾癬	14 人
・サルコイドーシス	184 人	・広範脊柱管狭窄症	2 人
・筋萎縮性側索硬化症	37 人	・原発性胆汁性肝硬変	437 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	560 人	・重症急性胰炎	27 人
・特発性血小板減少性紫斑病	134 人	・特発性大腿骨頭壊死症	62 人
・結節性動脈周囲炎	101 人	・混合性結合組織病	192 人
・潰瘍性大腸炎	322 人	・原発性免疫不全症候群	4 人
・大動脈炎症候群	39 人	・特発性間質性肺炎	25 人
・ビュルガー病	311 人	・網膜色素変性症	70 人
・天疱瘡	77 人	・プリオント病	1 人
・脊髄小脳変性症	136 人	・原発性肺高血圧症	27 人
・クローン病	73 人	・神経線維腫症	10 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	91 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・ペーキンソン病関連疾患	509 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	10 人
・アミロイドーシス	180 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1 人
・後縦靭帯骨化症	88 人	・副腎白質ジストロフィー	2 人
・ハンチントン病	2 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病院CPC 年3回、手術材料肉眼検討会 週1回、婦人科勉強会 年10回、消化器カンファレンス 月1回、腎臓病カンファレンス 月2回、症例検討会 年10回、心エコー症例検討会 年10回、乳腺術前症例検討会 週1回、小児画像検討会 週1回	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 48 例	剖検率 8.0 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙参照				
				補 委

計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙参照			

計

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
BRCA1 ユピキチンリガーゼによる乳癌抑制機構	太田 智彦	外科学(乳腺・内分泌外科)	3,200,000	補委 文部科学省
TNF- $\alpha$ による視神経障害の分子生物学的検討	北岡 康史	眼科学	1,700,000	補委 文部科学省
SSRIにより活性化されるAKT1によりリン酸化される転写因子の同定とクローニング	御園生 篤志	神経精神科学	1,700,000	補委 文部科学省
呼吸器疾患における病葉診連携に関する研究	駒瀬 裕子	内科学(呼吸器・感染症内科)	100,000	補委 (独)日本学術振興会
生活習慣病予防のための食事、運動指導の具体的効果の解明とその科学的根拠の確立	田中 逸	内科学(代謝・内分泌内科)	800,000	補委 (独)日本学術振興会
デジタル聴診器時間軸可変機能を組み込んだ心臓聴診教育プログラムの開発	信岡 祐彦	内科学(総合診療内科)	100,000	補委 (独)日本学術振興会
気道狭窄におけるハイブリットステント留置の呼吸生理学的研究	宮澤 輝臣	内科学(呼吸器・感染症内科)	1,200,000	補委 (独)日本学術振興会
メラノサイト及びメラノーマ細胞の分化におけるBMPとKITの役割と関係	川上 民裕	皮膚科学	1,000,000	補委 (独)日本学術振興会
抗うつ薬奏功蛋白質の新規ケミカルプロテオミクス法を用いた探索と蛋白質クローニング	長田 賢一	神経精神科学	1,700,000	補委 (独)日本学術振興会
2D-DIGEシステムを用いた新規乳癌関連遺伝子の同定と機能解析	福田 譲	外科学(乳腺・内分泌外科)	1,700,000	補委 (独)日本学術振興会
乳癌の抗癌剤感受性に影響を及ぼすDNA修復機構の解析	太田 智彦	外科学(乳腺・内分泌外科)	1,600,000	補委 (独)日本学術振興会
EDDによるAPC安定性制御機構における役割	大坪 毅人	外科学(消化器・一般外科)	1,600,000	補委 (独)日本学術振興会
傷害肝の外科的侵襲脆弱性に対する治療法の検討:プロテオミクスを用いたアプローチ	中野 浩	外科学(消化器・一般外科)	1,300,000	補委 (独)日本学術振興会
分子シャペロンHspをtargetとした卵巣癌分子標的治療開発への試み	木口 一成	産婦人科学	1,600,000	補委 (独)日本学術振興会
音像定位・体性感覚入力を利用しためまいりハビリテーション法の開発	肥塚 泉	耳鼻咽喉科学	500,000	補委 (独)日本学術振興会
羊胎仔尿路閉塞に対する膀胱-羊水腔シャント効果とその治療メカニズムの解明	北川 博昭	外科学(小児外科)	1,600,000	補委 (独)日本学術振興会
末梢血のリサイクルによる新たな肝不全治療法の確立	松本 伸行	内科学(消化器・肝臓内科)	2,100,000	補委 (独)日本学術振興会
間欠的虚血ストレスをターゲットとした腎疾患治療薬の開発-脂肪酸結合蛋白に注目して	木村 健二郎	内科学(腎臓・高血圧内科)	3,300,000	補委 (独)日本学術振興会
HMGBl蛋白質とその自己抗体の生理的ならびに病理的意義の基盤解析	尾崎 承一	内科学(リ・膠・ア内科)	1,900,000	補委 (独)日本学術振興会
siRNA及びアンチセンスオリゴヌクレオチドの視神經編性疾患への適応	上野 聰樹	眼科学	2,100,000	補委 (独)日本学術振興会
腹部外傷に対するCT所見を基本とした臓器損傷画像診断分類作成	中島 康雄	放射線医学	700,000	補委 (独)日本学術振興会
新規抗うつ薬結合蛋白質過剰発現マウスのストレス耐性とうつ病モデル動物の検討	朝倉 幹雄	神経精神科学	1,000,000	補委 (独)日本学術振興会
膵癌スクリーニングを目的とした糞便中メチル化診断	伊東 文生	内科学(消化器・肝臓内科)	3,300,000	補委 (独)日本学術振興会

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
気管支学 2007 第29巻第3号 p199-203	Convex型超音波気管支鏡による縦隔肺門リンパ節の質的診断の有用性	栗本典昭	外科学(呼吸器外科)
胸部外科 2007 第60巻第8号 p724-733	末梢病変の診断	栗本典昭	外科学(呼吸器外科)
CHEST 2008 Vol.133 No.1 p137-142	Automatic Objective Diagnosis of Lymph Nodal Disease by B-Mode Images From Convex-Type Echobronchoscopy	Rie Tagaya	外科学(呼吸器外科)
Cancer Sci 2008 Vol.99 No.2 p287-295	Etiologic value of p53 mutation spectra and differences with histology in lung cancers	Takuo Shinmmyo	外科学(呼吸器外科)
日本臨床外科学会雑誌 2007 第68巻 5号 P1247-1252	術後早期に骨転移をきたした肝細胞癌の1例	小泉哲	外科学(消化器・一般外科)
手術 2007 5月号臨時増刊号 Vol.61No.6 2007 P707-711	下大静脈切除を伴った肝葉切除	大坪毅人	外科学(消化器・一般外科)
日本外科学会連合学会誌 2007 第32巻2号 P211-214	直腸癌に伴った孤立性化膿性肝膿瘍の1例	櫻井丈	外科学(消化器・一般外科)
手術 2007 第61巻 第5号 P603-608	無結紉、クリップレス腹腔鏡下右結腸切除術の手術手技	須田直史	外科学(消化器・一般外科)
日本外科学会連合学会誌 2007 第32巻2号 P180-183	腹腔鏡下結腸切除術後ドレーン挿入部ポート孔より腸管脱出をきたした1例	牧角良二	外科学(消化器・一般外科)
臨床雑誌 2007 外科8月号 Vol.69 No.08 P 956-960	胃癌術後の栄養指標は、術後手術部位感染(SSI)発生予測に有用である	櫻井丈	外科学(消化器・一般外科)
World Journal of Surgical Oncology 2007 P1-4	A rare case of concomitant huge exophytic gastroinestinal stromal tumor of the stomach and Kasabach-Merritt phenomenon	Taiji Watanabe	外科学(消化器・一般外科)
手術 9月号 P1349-1351 2007	高齢者に発生したFournier's gangreneの1例	野田顯義	外科学(消化器・一般外科)
臨床外科学 2007 9月号 P1287-1290	保存的治療後に緊急手術を施行した門脈ガス血症の1例	野田顯義	外科学(消化器・一般外科)
Hepato-Gastroenterology54 (2007) P1563-1566	Preservation of Segment 4 Inferior by Distal Middle Hepatic Vein Reconstruction Combined with Extended Right Hepatectomy after Portal Vein Embolization in a Patient with a Huge Initially Unresectable HCC	中野浩	外科学(消化器・一般外科)
Ann Surg in Press 2008 247 (1) P118-24	Sinusoidal Injury Increases Morbidity after Major Hepatectomy in Patients with Colorectal Liver Metastases Receiving Preoperative Chemotherapy	Nakano H	外科学(消化器・一般外科)
手術 2007 第61巻 第9号 P1341-1344	CTで術前診断した右傍十二指腸ヘルニアの1例	諏訪敏之	外科学(消化器・一般外科)
癌と化学療法 34巻 第9号 2007年09月 P1433-	進行肝細胞癌に対する小粒子リビオドールエマルジョンを用いたリザーバー動注化学療法の有用性	小林慎二郎	外科学(消化器・一般外科)
日本消化器病学会雑誌 2007 第104号 第11号 P29-P34	大型肝細胞癌に対するレシチンカリビオドールエマルジョンを用いた肝動脈塞栓術の有用性	小林慎二郎	外科学(消化器・一般外科)
日本臨床外科学会雑誌 2007 第68巻 12号 P139-143	内視鏡下の造影で穿通膿瘍を確認し、腹腔鏡下に手術した上行結腸憩室炎の1例	佐々木貴浩	外科学(消化器・一般外科)
Transplantation Proceedings 39(2007) P3002-3006	Protective Effects of MnM2Py4P and Mn-Salen Against Small Bowel Ischemia/Reperfusion Injury in Rats Using an In Vivo and an Ex Vivo Electron Paramagnetic Resonance Technique with a Spin Probe	T. Watanabe	外科学(消化器・一般外科)
Transplantation Proceedings 39(2007) P3007-3009	Real-Time Monitoring of Nitric Oxide (NO) and pO2 Levels Under Ischemic Conditions Associated With Small Bowel Ischemia/Reperfusion Injury Using Selective Electrodes for NO and Oxygen Molecules	T. Watanabe	外科学(消化器・一般外科)
Journal of Surgical Research 145,49-59(2008)	The Role of the New Ca2+ Antagonist,CV159,in Hepatic IR Injury—the Evaluation of Hepatic Organ Reducing Activity Using In Vivo and Ex Vivo EPR	Taiji Watanabe	外科学(消化器・一般外科)
Journal of Surgical Research 147,41-49(2008)	Effect CV159—Ca2+/Calmodulin Blockade on Redox Status Hepatic Ischemia—Reperfusion Injury in mice Evaluated by a Newly Developed In Vivo EPR Im	Hiromichi p. Kobayashi	外科学(消化器・一般外科)
日本臨床外科学会雑誌 2007 第68巻 9号 P240-244	術前CTで診断した虫垂嵌頓臍径ヘルニア(Amyand's hernia)の1例	諏訪敏之	外科学(消化器・一般外科)
Eur Surg Res 2007; 2007 40;P247-255	Modification of the Hepatic Mitochondrial Proteome in Response to Ischemic Preconditioning following Ischemia-Reperfusion Injury of the Rat Liver	大島隆一	外科学(消化器・一般外科)
日本腹部救急医学会雑誌 Vol.27(7) P997-1000 2007	Churg-Strauss症候群に合併した空腸穿孔の1例	瀬上航平	外科学(消化器・一般外科)
日本外科学会感染症学会雑誌 2007 4(4) P561-564	胃癌術後の栄養パラメーターと手術部位感染発生頻度の相関	櫻井丈	外科学(消化器・一般外科)
肝胆脾 第55巻 第3号 P469-472 2007	腹腔鏡下胆囊摘出術の胆管損傷の特徴	大坪毅人	外科学(消化器・一般外科)
医薬の門 2007 第47巻 第3号 P260-264	重症急性肺炎に対する持続動注療法—カテーテルの留置部位をめぐって	小森山広幸	外科学(消化器・一般外科)
日本臨床外科学会雑誌 2007 第68巻 10号 P135-138	S状結腸壁外に発生した骨外性骨肉腫の1手術例	芦川和広	外科学(消化器・一般外科)
日本臨床外科学会雑誌 第68巻 6号 P1337-1382 2007	進行・再発肝内胆管癌に対するリザーバー肝動注化学療法の検討	小林慎二郎	外科学(消化器・一般外科)
癌と化学療法 34巻 第10号 2007年10月 P1671-1674	化学療法と外科切除により29か月生存した脾癌術後異時性肝転移の1例	小林慎二郎	外科学(消化器・一般外科)
消化器科 第46号 2巻 P253-256 2008	食道表在癌の拾い上げ診断についての検討—当院で発見し、EMRを施行した食道表在癌11症例の検討—	小林慎二郎	外科学(消化器・一般外科)
日本臨床外科学会雑誌 第69巻 1号 P200-212 2008	会陰部に発生した血管周皮腫の1例	川嶋八也	外科学(消化器・一般外科)
冠疾患誌 2008 14:p14-16	緊急冠動脈バイパス術症例の検討	小林俊也	外科学(心臓血管外科)
日本心臓血管外科学会誌 2008 37巻2号p82-90	脊髄虚血におけるedaravoneの有効性の検討	千葉清	外科学(心臓血管外科)
腫瘍外科治療の最前線外科治療 2007 Vol.96 Suppl.p.378-381	浸潤性小葉癌	河原太	外科学(乳腺・内分泌外科)
Clinical Breast Cancer 2007 Vol.7, No.8, P.624-626	Use of Ultrasonography as an Alternative Modality for First-Line Examination in Detecting Breast Cancer in	T Ohta	外科学(乳腺・内分泌外科)